

「ガバナー補佐雑感」

国際ロータリー第2640地区IM3組

ガバナー補佐 奥村 博志 (和歌山東南ロータリークラブ)



平成17年1月に前田パストガバナーと当時の角谷代表幹事から、次年度のガバナー補佐に就任するよう要請されました。

しかし、ロータリークラブに入会以来25年間皆出席というだけで、奉仕活動に熱心ではない私には非常な重責であると考え固辞いたしました。その後、数回にわたる説得があり、ロータリーにはノーはないということで、お引受しましたが、重責をひしひしと感じたというのが実感です。浅学非才な私が9ヶ月間まがりなりにも職責を果たすことができましたのは、本当に皆様の暖かい励ましと、ご協力の賜物であると感謝しています。

関係クラブのクラブ協議会等に出席させて頂いて非常に勉強になり、また感激を新にいたしました。

今後のロータリークラブのあり方について、私見を交えながら思うところを述べてみたいと思います。

*ロータリークラブの4大奉仕は、会員相互の親睦から始まると考えています。そのためにはいかに楽しい例会を開催するかが重要になってきます。SAAとプログラム委員会の知恵のだどころです。楽しい雰囲気、ためになる卓話が会員をひきつけます。

卓話については、新入会員にはできる限り卓話の機会を与えてクラブの皆様にも人柄や考え方を理解してもらいたいものです。時には、予算をオーバーしてでも有名人を招いて家族ともども聞く機会を与えることも推奨します。

*会員増強はクラブの組織強化のためにも重要なことです。新入会員を勧誘することも大切ですが、時節柄なかなか困難ですので、まず退会防止に努めましょう。大会の理由は、様々ですが最も多い理由はロータリーに興味を失って退会する方が最も多いと思います。ロータリーに興味をもつていただくためには、毎例会のはじめに情報・規定委員会が中心になってロータリーのあらゆる情報を提供することです。毎月第1例会に、雑誌委員会が「ロータリーの友」の抜粋を紹介するのも意義があります。新入会には1年間専属のカウンセラーをつけることと、入会3年未満の会員にはクラブのあらゆる行事に参加させることもロータリーを知ってもらうためには大切です。

つたない私を支えていただき、ご協力を賜った関係クラブの会長をはじめ会員の皆様に感謝申し上げますとともに、残された期間をガバナー補佐としての責務を果たすべく尽力したいと考えていますので、よろしくお願い致します。